

管理事務所からのお知らせ

夏の記録的な猛暑が尾を引いて秋になっても気温が高めだったため、紅葉は平年より10日ほど遅れました。11月中旬になって急に冷え込みが厳しくなり、11月22日には黒磯の市街地でも初雪を観測。これは例年よりも1週間以上早い時期です。その後の寒さはそれほどでもなく、12月25日現在、管理事務所周辺には雪はほとんどありません。

◎ 車の冬対策

これからの季節、白笹にお越しになる際には、タイヤチェーン(予備を含む)、スコップ、長靴、軍手、懐中電灯などは必携です。また、出発前にはバッテリーの液量と充電状態、ラジエターの液量、エンジンオイルの状態などを忘れずに点検してください。車やタイヤの性能を過信することなく、早めのタイヤチェーン装着を心がけ、時間に余裕を持って安全運転でお越しください。

◎ 水抜きは確実に

器具や配管の水抜きを怠ったり、水抜きが不完全だったりすると、内部に水が残って凍結してしまいます。水抜きは正しい手順で確実にこなすようにしましょう。水抜きの方法がお分かりにならない時は管理事務所にお尋ねください。また、水道の凍結等のトラブルが発生した際には、かならず入荘中に管理事務所にご連絡くださいますようお願いいたします。退荘されてからのご連絡では処置が間に合わず、器具・配管等が破損してしまう恐れがあります。

◎ 入荘は日没前に

冬季期間中はご来荘前に管理事務所にご一報くださいますようお願いいたします。ご連絡をいただかないと、除雪が間に合わず、入荘できない場合があります。夜間は除雪をいたしません。また、除雪が済んでいても、路面凍結などにより暗くなってからの入荘は危険なため、日没までに別荘にご到着くださいますようお願いいたします。



白笹何でも

Q & A



Q 住宅用火災警報器の設置が義務化されたと聞きましたが、概略を教えてください。

A 住宅火災による逃げ遅れ死者の防止を目的に、平成18年6月からすべての住宅に火災警報器の設置が義務付けられました。新築住宅は平成18年6月1日から、既存住宅(別荘も含む)は平成21年5月31日までに設置することになります。設置場所は寝室、階段の天井等となります。詳細につきましては次号「白笹だより」でお知らせいたします。

編集室より

あけましておめでとうございます。

さて、今回は那須周辺の旬の情報をいくつか。まずは国道289号線ですが、甲子峠が2008年度中に車道として正式に開通する予定です。これにより、白笹から会津方面へのドライブがとて楽になります。また、この国道289号線と那須の八幡温泉を結ぶ那須甲子有料道路は今年9月から無料開放される予定で、これもまた嬉しいニュース。南に視線を移せば、那須塩原駅前から北西へ延びる県道53号線(大田原高林線)と東北自動車道が交差する塩野崎地区に、今年7月には「那須ガーデンアウトレット」がオープンします。佐野のアウトレットよりはやや小規模になる予定ですが、あたり一帯は相当な賑わいを見せそうです。そして、そのアウトレットモールに隣接して、2009年度中に東北自動車道の黒磯インターチェンジ(仮称)が完成。今後はここが白笹と東京方面を結ぶもっとも便利なインターチェンジになるでしょう。

このように、那須周辺では2008年から2009年にかけても新しい話題が目白押し。ますます魅力あふれる白笹で、どうぞ今年も素敵なリゾートライフを!

編集室ではオーナーの皆様から、「白笹だより」に掲載させていただく写真や絵画、詩歌、エッセイなどを募集しております。作品のジャンルは問いませんので、どうぞお気軽にお寄せください。ご応募お待ちしております。



編集発行
黒磯観光開発株式会社
本社・現地管理事務所

〒325-0111
栃木県那須塩原市板室字白湯山1173-31
☎ 0287(69)0331(代)

白笹だより

No.107

2008.1



水源地近くの管理歩道にて

沼原から白笹山(1719m)への登山道は、山登り好きの白笹オーナーの皆さんにはすでにお馴染みのコース。まずは沼原の駐車場から林道に入り、ドーム状の白笹山を仰ぎながら広々とした草地を進みます。林道が終ると、笹が茂ったダケカンバやミズナラなどの樹林帯に入ります。潤れた沢(沢名川)を渡って本格的な登りの始まり。ゴヨウツツジの群落もあり、5月下旬には真っ白な花を咲かせて見事です。針葉樹林にアスナロも多く見られるようになり、道はジグザグに進んで高度を上げていきます。時おり木々の枝越しに、神秘的なエメラルドブルーに輝く沼原調整池が姿を見せます。

歩き始めて1時間もすると十字路が現われますが、登山道を左右に横切るこの歩道の下には、水源地と白笹別荘地を結ぶ導水管が埋められています。登山道からこの管理歩道を左に折れると、海拔約1530mの水源地まではほぼ1kmのなだらかな登り。上の写真はちょうどその中間あたりの風景で、新雪が降り積もった朝に撮影したものです。猛々しくも哀愁を漂わせた立ち枯れの木々が、周りの笹や樹木、背後の三倉山、大倉山から流石山にかけての稜線とともに、風情ある景観を創りだしています。

白笹掲示板

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

オーナーの皆様方におかれましては、輝かしき新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私も弊社代表取締役役に就任しましてから那須方面へ出かける機会も増え、四季折々の季節の変化の美しさにその都度感動し、白笹温泉郷の良さを実感しております。オーナーの皆様にも、日頃の喧騒からのがれ、是非白笹でのゆったりした時の流れを感じていただきたく、私達社員一同、管理体制の充実並びにサービスの向上に努めて参ります。つきましては、今後とも変わらぬご理解とご協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

末筆ではございますが、オーナーの皆様のみますますのご健康とご多幸を祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

平成20年 元旦

黒磯観光開発株式会社 代表取締役 楠 昭



エンジョイしています。別荘ライフ



鶴木さんご夫妻

今年最初のご登場は、もみの木平の鶴木さんです。師走のお忙しい時期にご無理を申し上げ、奥様に原稿を用意していただきました。20年来のオーナーさんだけあって、那須の移り変わりや周辺の事情などとてもよくご存じて、地元のお店の上手な活用法などもさすがです。別荘ライフの真の醍醐味を知っていらっしゃるご様子で、羨ましくなっていました。素敵な文章、ありがとうございます。

白笹に別荘を建てて、早くも20年が過ぎました。ベランダや玄関の木が腐り、つくりなおさなければいけないなど、いろいろガタも来ています。その間、周りの様子も変わりました。毎年子どもを連れて冷たいプールで泳いだり早稲田大学漫画研究会に似顔絵を描いてもらっていたロイヤル・センターがなくなりました。いっほうでつり橋のような新しい名所ができ、ツツジの群生地には木の遊歩道が完成して歩きやすくなりました。那須街道の店は次々に増え、雑誌などにとりあげられるおかげで週末や連休の渋滞はひどいものです。最近ではできるかぎり避けるようにしています。別荘地内では、かつてキツネやウサギをみ

かけたことがありましたが、最近はおつばらサルの群です。夜中に木の上で叫ぶ声と集団で木から木へ移動する様子はちょっと不気味です。

東京から3時間車を運転して那須の山々が目の前に見るとほっとします。蒸し暑い夏の東京を離れる快感はもちろんですが、ツツジと新緑が美しい5月末と紅葉がきれいな10月末の那須は最高だと思います。子どもが小さい頃は毎冬来ていました。雪道の運転や道から玄関までの除雪、水道の凍結防止など大変で最近は大変な億劫になりました。でも、新雪に覆われた林に陽が当たる光景を見ると、来てよかったと思います。夏には、犬を連れ、水源地の脇を歩いて白笹山に登ったり、さらに南月山まで足を伸ばしたこともあります。残念ながら毎回那須に連れてきていた2代目の犬が昨年亡くなり、散歩の機会がめっきり減ってしまいました。

私の好きな別荘の過ごし方は、一日中ベランダに座って(あるいはストーブで薪が燃える居間で)好きな本を読むこと。連れ合いは東京でできない庭いじり(といってもおもに木を切ることですが)を楽しんでいます。食事はほとんど家でつくります。夜は安愚楽牛の直営店で買った肉や、フィッシュランドで買ったマスを焼いたり、戸田の交差点近くにある農協の店で手に入るおいしくて安い野菜をたっぷりいただくのが楽しみです。つくるのが面倒なときには板室にあるおそばやさんに寄ったり、乙女の滝の少し先にあるテンカラという古い民家のようなお店で自家製の美味しい焼酎とおみそと炉端焼きを堪能します。

いつまで車で通えるか分かりませんが、次、そしてまた次の世代まで那須を楽しんでくれたら、こんなにうれしいことはありません。

那須で見られる山野草⑧ フユノハナワラビ(冬の花蕨)

山地・低地の日当たりのよい林床で見られるハナヤスリ科の多年草。地上部が秋に現われて春に枯れることから名付けられました。ニンジンの葉に似た地表近くの葉が栄養葉、高く直立しているのが孢子葉。孢子葉の丈は15~40cmぐらいで、穂状に並んだ孢子が10~11月頃に黄色く熟して花のように見えます。秋に孢子を飛ばしたあとも孢子葉は春まで直立したまま残ります。冬の野山で栄養葉のつややかな緑は際立ってあざやか。

白笹別荘地内でも数多く見られ、管理事務所下のスピーカーが付いた鉄柱付近にも自生しています。近似種のオオハナワラビはやや大型で、栄養葉の裂片の鋸歯が鋭く尖っています。

管理事務所下に自生するフユノハナワラビ ▶



おいしい場所
お教えします

ギャラリー&カフェ みるく

TEL 0287-76-4745

営業時間 10:00~19:00 (冬期は18:00まで) 水曜日休

あたり一面が白銀の世界に変わる白笹の冬。暖かい別荘で、窓の外の雪景色を眺めてのんびり過ごすには絶好の季節です。でも、たまにはちょっと外出をして、居心地のよいお店でコーヒーやお茶、ケーキを楽しませてみるのもいいもの。今回は、そんな気分転換のお出掛けにぴったりのお店「みるく」です。

県道68号線に面した店内には、さりげなく陶器が飾られ、つい長居をしたくなる心地よさを醸しだしています。これらの陶器は、おもに「みるく」のマスター、矢内さんと、矢内さんが益子で師事していた成井清治氏の作品。いつかは豊かな自然のなかにご自分の窯を作り、カフェを開くことを思い描いていた矢内さんが、奥様と那須に移り住んだのが2年前。以来、カフェを営業しながら作陶に励んでいます。店内の陶器は販売もしていて、どれも手頃なお値段。土の温もりがしっかりと感じられ、すぐに愛着がわきそうな陶器ばかりです。

「みるく」でのおすすめは、マスターが腕によりをかけて淹れるドリップ1杯仕立ての「炭焼コーヒー」(500円)。ローストの加減もちょうど良く、どなたでも親しみやすい癖のない味です。お茶のほうがお好きな方には「レモンティー」(450円)、「みるくティー」(500円)のほか、「ローズヒップティー」(500円)がおすすめ。コーヒーやお茶をお好みのケーキとセット(800円)でいただければ、いっそう満ち足りた気分になれること請け合いです。お店で使われている皿や器はすべて矢内さんのお手製で、味わいを引き立てています。



「陶芸はとても奥深いもので、作れば作るほど自分の未熟さに気づかれます。もっともっと精進をして、本当に満足に行く陶器で、召し上がる方の心に残るコーヒー、思い出となる1杯がお出できればいいですね」とマスター。そんな言葉からも、謙虚でひたむきなお人柄がうかがえます。マスターや奥様と気軽にしゃべりが楽しめるのも「みるく」の魅力。注文の際に「白笹から来ました」と言っていれば、メニューには載っていない「手づくりコーヒーゼリー」をサービスで付けてくださるとのこと。「みるく」でくつろぎのひと時を過ごされてみてはいかがでしょうか。

その他のおすすめメニュー

- ◆ フレーバーコーヒー (チョコ・ナッツ・バニラ・キャラメル・シナモン、各550円)
- ◆ カシスブルーベリージュース (450円)
- ◆ みるくあんみつ (牛乳で食べる健康志向のあんみつ、650円)
- ◆ 抹茶 (和菓子付き・600円)

